

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2021年9月5日



## 窓口負担の二割への値上げは中止せよ コロナから高齢者の命と健康を守れ

### || 京都府後期高齢者医療広域連合議会 ||

8月27日、京都府後期高齢者医療広域連合

京都府後期高齢者医療広域連合は、75歳以上の住民を強制的に集めた医療保険で、都道府県毎に、その都道府県内の各市町村で構成されています。首長である連合長は、その市町村の長の中から選ばれ（京都では、現在、八幡市長が連合長）、議会の議員は各市町村議会から選ばれます（議会内での選挙で、住民の皆さんには選ぶ機会も権利もありません）。京都府では、26の自治体のうち、宇治市2人、京都市4人（現在、共・自・公・民から各1人）、他は各1人、計30人の議員がおり、年2回（夏に前年度決算、2月に翌年度予算が議題）、議会が開かれています。議員の一般質問や府民からの請願なども、市議会等と同様、可能です。



の議会が開かれ、井上議員が、①昨年度決算について質問、②府民から出された請願書の紹介、に立ちました。要旨を紹介します。

※ ① 昨年度はコロナ禍の真只中であつたのに、被保険者の命と健康をどう守ってきたのか、との分析や総括がない。保険給付費が減

っているが、これも「受診動向の変化」と言うだけだ。本当は受診控えであり、重症化が懸念される。背景には医療提供体制（病院や診療所、医者等）が十分でないことがある。国や府への要望や連携を。⇒連合長は「連携はとる」等との答弁のみでした。②請願は、社会保障推進協議会という運動団体から出されたもので、井上議員が紹介議員になつていました。今年6月に自民・公明などが、窓口負担の

### 市営住宅の募集中です

- ◎ 9月9日までに郵送
- ◎ 今回は単身者用はありません。
- ◎ 応募用紙、書き方、その他詳細は、井上議員までお気軽に。

1割から2割への値上げ（収入による）を決めましたが、具体的な実施時期は来年の参院選後とされています。この中止を求めると、抑制で早期発見と現役世代の負担軽減と、言っているのは、軽減となつているのは、公費だ。今回の値上げは、今後は介護保険利用料の値上げ等への「里塚」と呼びかけました。また、「コロナにかかった被用者の傷病手当にも拡大を」とり手当て、業務主への傷病の請求も、同協議会か

### 傷病手当の現状と請願、井上議員の指摘・要求

	要件	対象
現制度	コロナにかかって仕事を休み収入がない	被用者（労働者）
要求請願	コロナに限らず一般傷病の場合も。少なくとも被用者には。	事業者やフリーターにも

ら出されていきました。残念ながら、二つの請願は、いずれも、不採択となりました。

### 財源と後期高齢保険の問題点を指摘

請願紹介の中で井上議員は、財源の問題について、「国保や職域保険から『支援金』が後期高齢保険に出されているが、リスクの高い人たちだけを集めた保険は成り立たないのが当たり前。以前のように老若同一の保険ならリスクが分散され、この場合、元気で給付の少ない被保険者の保険料のことを『支援金』などとは呼ばない。老若分断策だ」と、後期高齢保険の問題点を指摘。

また、特に大企業が非正規労働者を増やし、職域・社会保険から排除、事業主負担を大幅に減らし、払っていないことが、国庫負担減少とともに、社会保障財源の大幅減少の要因だと指摘しました。